

社協評価事業（社協力向上プロジェクト事業）総括評価

社協名	社会福祉法人 周南市社会福祉協議会
第三者評価日	平成28年10月25日（火）
現時点の社協力	<p>（第三者評価者の視点）「社協の現在の姿の一部」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協を中心に地域福祉を進めていくという方針のもと、合併後、全地区に地区社協が設置されており、あわせて福祉員活動、ふれあい・いきいきサロン活動を重点的に展開している。 ・個別支援事業を通じて地域づくり（地域支援）を推進するという共通認識の下、地区社協、「もやいネット地区ステーション」を通じて個人の状況把握に努めている。 ・合併後、職員の横断的な情報共有の場を設けることを目的として「チーム社協」を設置し、組織の課題や今後の展望について職員間で話し合う場を設けている。 ・人材育成計画指針を策定し、目指すべき自社協の職員像を具体的に示している。 <p>（周南市社協側の視点）「強み：PRポイント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全地区に地区社協が設置されており、地区社協を中心に地域福祉を進めている。 ・行政との連携のもと、もやいネットワーク地区ステーションに地域福祉コーディネーターを置き、見守りのネットワークが構築できている。 ・多種多様な個別支援事業を実施している。（介護保険事業、地域包括支援センター、自立相談支援センター、権利擁護事業、もやい地区ステーション推進事業） ・人材育成計画指針、第3次経営改善計画、地域福祉活動計画等が策定されている。 ・「チーム社協」を設置し、組織の課題や今後の展望について話し合う場を設けている。
3年後にめざす社協像	<ul style="list-style-type: none"> ①社協の理念とともに、職員が共通理解を持って各事業に取組、住民や地域から信頼される社協。 ②個別の支援事業の充実に努め、住民ニーズの把握をし、ニーズに沿った事業の展開。 ③事業展開と財政状態のバランスが取れた運営。
社協力向上経過レポート	<p>（平成29年度）</p> <p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次人材育成計画指針の策定 ・人事評価制度導入に向けての準備

《成果》

- ・職員研修会を開催し、職員に説明することで、人材育成計画と人事評価制度についての理解を深めることができた。

(平成30年度)

《実施状況》

- ・人事評価制度の策定・実施

《成果》

- ・市社協全体の目標→各課の目標→各職員の目標を設定することで、一年間を通して目標を持って仕事に取り組むことができた。

(令和元年度)

《実施状況》

【目標1 社協の理念とともに、職員が共通理解を持って各事業に取り組、住民や地域から信頼される社協】

- ①人事評価の実施
- ②組織体制の再編

【目標2 個別の支援事業の充実に努め、住民ニーズの把握をし、ニーズに沿った事業の展開】

- ①第3次地域福祉活動計画の中間評価
- ②生活困窮者自立支援事業における3事業の一体的実施

【目標3 事業展開と財政状態のバランスが取れた運営】

- ①第4次経営改善計画の策定
- ②事務事業評価の実施

《成果》

- ・全職員が共通認識のもと、目標達成に向けて、様々な取り組みを実施することにより、目指すべき方向性が見えつつある。